

研究構想シート		学校名	益田市立真砂小学校
		氏名	小島 祐哉
A 研究主題		一人ひとりが自ら決め 粘り強くやり抜く子どもの育成 ～学びに向かう児童の育成～	
B 研究の目的		教育活動全体を通して一人ひとりが自分の思いや考えをもち、相手に伝えるための表現の場や方法について明らかにする。	
C 子どもの実態 ○素直で言われたことには一生懸命に取り組み、学年の枠をこえて仲がよい。 ○自分の考えや思いを相手に伝えたり、表現する力に課題がある。 ○少人数のため多様な考え、表現に触れながら思考したり、考えをまとめたりする場面が少ない。	E 手立て・内容（研究仮説） ○教育活動全体を通して、「ひと、もの、こと」との出会い方を工夫し、児童と目的やねらいを一緒になって練り上げ、一人ひとりが目的をもてるようにする。 ○自分の思いや考えを表現する場を設け、タブレットの活用をはじめとして多様な表現方法を体験させる。 ○自分の思いを伝えるために語彙力や表現力を高める取り組みを行う。		D めざす子どもの姿 ○自ら思いや考えをもち、相手に伝えるための手立てや表現方法を考えたり、選択したりして、表現する子ども。  ○自ら設定した目的、目標に向かって粘り強くやり抜く子ども。
	F 検証方法 ○児童の発言や活動の様子、ワークシート等の記述 ○児童アンケート（県学力調査の結果も活用する） 以上のことから研究主題の児童像に迫ることができたか検証する。		
	G 研究計画 1.前期 (1) 研究の基本構想を共有する。 今年度の取り組みの見通しをもつ。 (2) 目指す児童像の共有、検討。 (3) 各学級における実践、記録 (4) 前期の振り返り  2.後期 (1) 各学級における実践、記録。 (2) 研究のまとめ（成果と課題） (3) 来年度の研究の方向性の検討		